

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 71

美しい水と緑と風に包まれ
元気で豊かに光るまち

高知県 香南市長
せんとう よしひろ
仙頭 義寛



香南市は、豊かな自然環境に恵まれた地域です。南部地域は、太平洋に面する自然豊かな景観の海岸部と肥沃な平野部が東西に広がり、中部地域は、低山が連なる中に里山環境が広がっています。また、北部地域は標高 300~600m の四国山地の一部を構成しており、これらの山々を源流とする物部川など、水と緑が豊かな地域です。

特に、物部川の恩恵を受け、市民は「母なる物部川」として親しみ感謝し、季節になると釣り人が鮎漁を楽しむ姿は当市の風物詩となっています。大地を潤す水は地下水としても利用され、飲料水はもとより農業用水、工業用水等として多方面で利活用されております。

当市には、「四国の水辺八十八カ所」にも選ばれました 3 カ所の水の名所があります。

まず、物部川と太平洋の荒波が出会う空間「物部川河口」は、開放感あふれるダイナミックな景観が広がリアオサギなどの水鳥が飛来し、小動物も多く住む自然観察や癒しの場となっています。そして、江戸時代に土佐藩の家老、野中兼山が施工した港で、当時の石積みの護岸がほぼ完全な形

で残る日本初の「掘込み港」として歴史的価値の高い漁港「手結港」。また、同じく兼山が新田開発のために開いた用水路「兼山三又の水辺」は、昔ながらの石積みを残しながら現在も地域の農業用水として使われ、川べりの散策路では四季折々の散歩やハイキングが楽しめます。特に「三又」は、物部川統合堰からの幹線用水路より、南国市や野市町、吉川町への分水地点であり、香長平野の田畑を潤す水量豊かな水が、とうとうと流れる景観は素晴らしいものがあります。

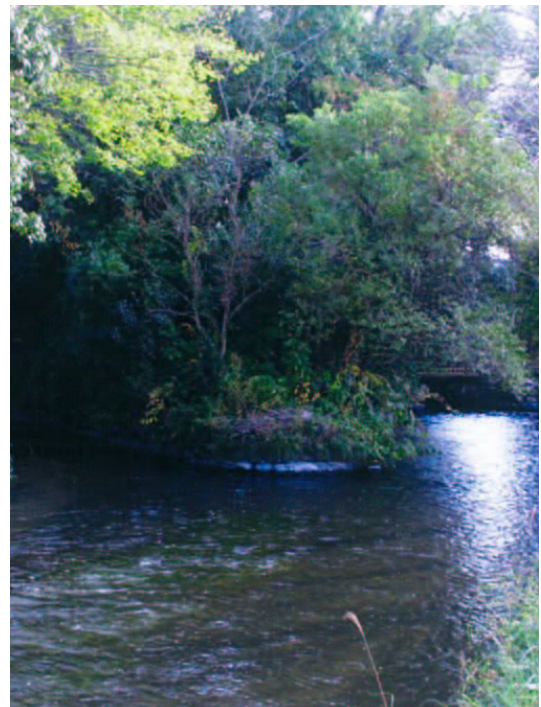
このほかにも、当市には香宗川、山北川、烏川、夜須川が流れており、これらの河川から農業用水路が市内の至る所を流れています。旧野市町では、この水路の管理道を利用して手軽な健康法としてのウォーキングを進めるため、ウォーキングコースを造るなど「みずみちからの町づくり」を進めてきました。今後は、これを自然豊かな香南市全域に広げて健康づくりにも役立て、そこから広がる潤いのあるまちづくりを進めていきたいと考えております。



物部川河口



手結港



兼山三又の水辺